

W820 取扱説明書

W820-z-2508-2

ご購入ありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
下さいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

注意

- ※本製品のネットワーク接続には、無線 LAN 環境と、スマートフォンやタブレット、PC等の無線 LAN 通信が可能な端末が必要となります。
- ※『利用規約の同意』や『ユーザー登録』が必要な公衆無線 LAN や各キャリアの Wi-Fi サービス (Wi-Fi® SPOT) への接続は出来ません。
- ※本製品には手動で時刻合わせや時刻修正を行う機能が付いておりません。必ず無線 LAN 環境の整った場所でご使用下さい。
- ※本製品は日本国内専用です。海外では国によって電波使用制限があるため本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

- 印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。
- ※「Wi-Fi®」は「Wi-Fi Alliance®」の登録商標です

©211-230105

製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時間精度: 平均月差 ±30 秒以内 (気温 25℃で使用した場合)
※無線 LAN との同期による時刻修正を行わない場合
※指針 (針の位置) 誤差
アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合がありますが、故障ではありませんのでそのままお使い下さい。
秒針: ±1 秒以内、時・分針: ±3 度以内
- 使用温度範囲: 0 ~ +40℃ ※結露なきこと
(外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 使用電池: 時計用: 単 3 形アルカリ乾電池 (LR 6 1.5V) 2 個
温度湿度計表示用: 単 3 形アルカリ乾電池 (LR 6 1.5V) 1 個
※必ず指定の電池を使用して下さい。
- 電池寿命: 時計用: 約 10 ヶ月 (単 3 形アルカリ乾電池 2 個使用の場合)
温度湿度計表示用: 約 12 ヶ月 (単 3 形アルカリ乾電池 1 個使用の場合)
- 時刻情報元: UTC 時刻 (協定世界時)
- 無線方式: IEEE802.11 シリズ (b/g/n/ax) 2.4GHz ※ 5 GHz 非対応
- 暗号化方式: TKIP/AES
- セキュリティ: WPA/WPA2 ※WPA3 非対応
- タイムゾーン (時差) 切替機能: UTC 時刻 (協定世界時)
- 定期受診時刻設定機能 (1 回 / 日): 9:00/10:00/21:00/22:00 から選択可能
- 接続確認ランプ: 設定時のみランプの色で状態をお知らせ
- 夜間秒針停止機能: 0 時 00 分 ~ 午前 6 時 00 分の間は、秒針のみ 12 時位置で停止
- 温度計: 表示範囲 -19.9 ~ +50℃
※-19.9℃より低いと [Lo]、+50℃より高いと [HI] を表示
精度 ±1℃ (+10 ~ +35℃の間)
±2℃ (上記以外)
- 湿度計: 表示範囲 10 ~ 95%RH
※10%RHより低いと [Lo]、95%RHより高いと [HI] を表示
精度 ±5%RH (温度 25℃で、30 ~ 80%RHの間)
±10%RH (上記以外)
- 温度変化矢印表示

時計の掛け方について

注意 掛け方が不適切な場合、落下する危険があります。

●掛け具に時計を掛けただけで、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。●時計は垂直・水平に掛けて下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に働きません。●ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。●落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けないで下さい。●壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けて下さい。●壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。※材質・構造が不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。



夜間秒針停止機能について

本製品は内蔵プログラムにより、0 時 00 分から午前 6 時 00 分までの間は、秒針のみ 12 時位置で停止します。
※夜間秒針停止中であっても自動受信のときは、秒針が動くことがあります。また時・分針も通常運針以外の動きをしますが故障ではありません。
※夜間秒針停止機能の解除、時刻設定はできません。

各部の名称



注意 種類の違う電池、古い電池と新しい電池などを混ぜて使用しないで下さい。電池の破裂や時計の故障の原因になります。

温度湿度計の使い方

- ① POPラベルを 2 枚剥がして下さい。
- ② 温度湿度計用電池ホルダの電池フタを開けて、単 3 形乾電池 1 個を ⊕ ⊖ の表示に合わせて入れ、ツメ部分を電池フタツメ受け穴に差し込み電池フタを閉じて下さい。温度湿度計が表示されます。



液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
- 液晶表示は 5 年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる場合があります。
- 0 ~ +40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。

<温度・湿度表示例>



温度変化矢印表示について

温度の変化を矢印で表示します。1 時間以内に、1℃以上の変化があれば、「↑」もしくは「↓」のいずれかを表示し、1℃未満であれば、「→」を表示します。

電池の交換について

- 時計用電池容量が少なくなると、秒針の進みが目に見えて遅くなります。このような場合は、速やかに同じ種類の新しい電池に 2 個同時に交換して下さい。
- 温度湿度計用電池容量が少なくなると、液晶表示が薄くなったり、見えにくくなる場合があります。このような場合は、速やかに新しい電池に交換して下さい。※使い置ききの電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により、電池寿命が短くなる場合があります。※時計が動いていても、製品仕様欄に記載の電池寿命を目安に、定期的に電池を交換して下さい。

温度湿度表示機能について

- 本製品は工業用 (業務用) 計測機器として使用する目的で製造されたものではありません。温度湿度表示機能は、センサーが本体内部に設置されているため、表示が安定するまでに時間がかかる場合があります。
- 他の製品、温度計・湿度計との誤差が発生する場合があります。
- 使用温度範囲を超えた場合、故障の原因となりますので、注意して下さい。

静電気の影響

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このような場合は、リセット操作をして下さい。

時計の使い方 (本体と無線LANの接続設定)

注意 ※APモードは約2分間で自動解除されます。
 ※電池の電圧が低い場合、針が1:50の位置で停止します。

初期設定を開始する前に、以下をご用意下さい。

- ①スマートフォン/タブレット/PC等の無線LAN通信が可能な端末
- ②接続先の無線LAN (SSID)のパスワード

1.電池を入れる

単3形アルカリ乾電池2個を、時計用電池ホルダの⊕⊖の表示に合わせて入れて下さい。

2.APモードに入る

電池を入れると針が早回りを始め、約10秒後に接続確認ランプが赤く点滅を始め、AP(アクセスポイント)モードに入ります。
 ※APモード(接続確認ランプの赤い点滅)は約2分間で自動的に解除されますので、この間に初期設定を終了して下さい。
 ※針が動いている間は、ボタン操作は出来ません。

電池を入れた直後の時計の動き 最大約2分間

- ①電池挿入後、針が回り始める
- ②APモードに入り接続確認ランプが赤く点滅する



3.本体と端末を接続させる

端末(スマートフォンやノートPC等)でWi-Fi®ネットワークの接続先一覧からネットワーク名"WiFi-clock_XXXX"を選択すると、本体と端末が接続されます。 ※"XXXX"の部分は個体により異なります。

4.初期設定を開始する

本体と端末の接続が成功すると、設定画面が端末に表示されます。
 ※設定画面が自動的に表示されない場合は、そのままの状態ではブラウザのURL欄へ「192.168.4.1」を入力し検索して下さい。

5.設定画面で各項目を設定する

※ご希望のSSIDが表示されていない場合はScan(スキャン)を選択して下さい。
 ※Reboot(再起動)を選択すると、設定画面が終了します。再度設定する場合は、3.本体と端末を接続させる から設定し直して下さい。

設定画面

Wifi Clock

SSID(ネットワーク) *****

Password(パスワード) *****

Time Zone(タイムゾーン) GMT+9

Auto Adjust(自動調整) 10:00

Scan(スキャン) Restore(リセット)

Save(保存) Reboot(再起動)

接続先の無線LAN (SSID)を選択して下さい。

パスワードが設定されている場合は入力して下さい。

タイムゾーン(時差)切替機能により、他国の時刻を表示することが出来ます。

定期受信時刻の設定を、9:00/10:00/21:00/22:00から選択する事が出来ます。
 ※無線LANルーターが自動で電源OFFになる時間帯や、ネットワークが混雑する時間帯を避けて使用する事が出来ます。
 ※タイムゾーン(時差)が基準となります。

主な都市名と世界標準時との時差

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| +0:ロンドン | +9:東京 ソウル |
| +1:パリ ベルリン | +10:シドニー |
| +2:カイロ イスタンブール | -8:ロサンゼルス |
| +3:ジェッタ ナイロビ モスクワ | -7:デンバー |
| +4:ドバイ | -6:シカゴ |
| +5:カラチ | -5:ニューヨーク |
| +6:ダッカ | -3:リオデジャネイロ |
| +7:バンコク ジャカルタ ホーチミン | |
| +8:北京 香港 台北 シンガポール
クアラルンプール マニラ | |

6.設定操作を完了させる

Save(保存)を選択して下さい。設定が完了し、時計が運針を始めます。

●ネットワーク接続に成功し、時刻の同期に成功した場合

接続確認ランプが緑色に点滅し、自動的に針が現在時刻を指し通常の運針を開始します。

●ネットワーク接続に失敗した場合

時刻を修正せずに針は正午(12時位置)より通常の運針を始めます。
 ※本書「本体と無線LANの接続設定でお困りの際は・・・」を参照して下さい。

時計本体の操作

携帯端末(スマートフォンやノートPC等)上の操作

時計本体の動作

※無線LANの接続設定は、一度設定を完了すると本体に記録されますので、通電が遮断した場合や、電池交換などを行った後に、再度無線LANの接続設定を行う必要はありません。

FAQ

Q:初期設定に使用した端末(スマートフォンやPC)がその場からなくなったらどうなりますか?

A:端末は初期設定時に無線LAN(Wi-Fi®)と時計を接続するために使用します。一度ネットワークとの接続が完了した後は、時計の近くにある必要はありません。ただし、接続した無線LAN(Wi-Fi®)に設定変更が必要な場合等では再度端末(別の端末でも可)を使用して操作する必要があります。

Q:停電などで無線LAN(Wi-Fi®)が停止し、その後復旧した後はどうなりますか?

A:一度接続した無線LAN(Wi-Fi®)であれば(初期化または上書きしない限り)復旧後は自動で接続するので、再設定の必要はありません。また、接続が途切れている間は内蔵クォーツ精度で計時し運針を続けます。

Q:時刻は一日に何回、何時に修正されますか?

A:時刻の自動修正は、1日に1回行います。

Q:スマートフォン等によるテザリングでの同期は可能ですか?

A:可能です。その際は「テザリングさせる端末」と、「この時計を同期させるための端末」の計2台の端末が必要となります。
 ※時刻の自動修正時に「テザリングさせる端末」が近くにない場合は、時刻情報を同期できなくなるため、内蔵クォーツの精度で計時し運針を続けます。

Q:複数の無線LAN(Wi-Fi®)と同期させる事はできますか?

A:できません。1対1の接続になります。

Q:無線LAN(Wi-Fi®)ネットワークの接続先一覧から、WiFi-Clock_XXXX(*XXXXの部分は個体により異なります)を選択したが、端末上に初期設定画面が表示されませんか?

A:しばらく待っても初期設定画面が表示されない場合は、そのままの状態ではブラウザ(例:Google Chrome, Safari等)のURL欄に「192.168.4.1」と入力し検索すると初期設定画面が表示されます。そのまま初期設定を行って下さい。

Q:表示時刻をずらして(5分早める等)使うことはできますか?

A:できません。

Q:初期設定が完了しているのに、時間が合いません。故障でしょうか?

- A①:時差設定が海外に設定されている可能性があります。
 APモードで端末と時計本体を再度接続し、タイムゾーン(時差)切替機能の設定時間を「GMT+9 東京 ソウル」に設定して下さい。
- A②:Wi-Fi®との同期に失敗している可能性があります。
 M.SETボタンを3秒以上押すと、約30秒間APモードに入ります。
 「時計の使い方」の3.から再度初期設定をし直して下さい。

本体と無線LANの接続設定でお困りの際は・・・

- APモードの時間内(約2分間)に初期設定が終わらなかった
 ⇒再度初期設定を行って下さい。
 (本書「時計の使い方」の3.から再度初期設定をし直して下さい。)
- 初期設定完了後、現在時刻を表示しなかった
 ⇒接続先ネットワークのパスワードを間違えて入力している可能性があります。M.SETボタンを長押し(3秒以上)し、接続確認ランプが赤く点滅しAPモードに入ったことを確認した後、再度無線LANとの同期設定を行って下さい。(本書「時計の使い方」の3.から再度初期設定をし直して下さい。)
- 設定内容を変更したい場合
 ⇒M.SETボタンを長押し(3秒以上)し、接続確認ランプが赤く点滅してAPモードに入ったことを確認した後、再度無線LANとの同期設定を行って下さい。(本書「時計の使い方」の3.から再度初期設定をし直して下さい。)

無線LANの設定内容初期化(リセット)方法について

無線LANの設定内容の初期化を行う際は、下記の操作を行って下さい。

- 時計本体の操作でリセットする場合
 一度電池を取り外し、再度電池を入れて裏面のM.SETボタンとRECボタンを同時に3秒以上押して下さい。
 →接続確認ランプが赤く点滅を始め、AP(アクセスポイント)モードに入ります。
- 端末に表示された設定画面でリセットする場合
 ①裏面のM.SETボタンを3秒以上押して下さい。
 →接続確認ランプが赤く点滅し、APモードに入ります。
 ②設定画面のRestore(リセット)を選択して下さい。
 →SSIDとパスワードが消去され無線LANとの同期が解除されます。
 ※時計の針はそのままクォーツ精度で運針を続けます。

⇒再度設定する場合は本書「時計の使い方」を参照して下さい。

本製品の設定方法を動画でもご案内しております。
<https://www.mag-clock.co.jp/WLAN.html>
 ※スマートフォンの場合は、QRコードを読み取りご確認ください。

